

2004年度東北大学法科大学院入学試験

試験科目名：刑法(50分)

ある冬の夜、Xは、帰宅途中に人通りの少ない路上で、前方から歩いてきたAと肩がぶつかり口論となった。しばらく口論が続いた後、興奮したAはXの肩を強くつかんだ。Xが、痛みのために、Aの手を振り払ったところ、地面が凍っていたためにAは転倒し、壁に頭を強く打ちつけ、気を失った。慌てたXが救急車を呼ぼうとしたところ、その様子を物陰から見ていたYが現れ、「そんなことをすると、お前の犯行が発覚するぞ。早く逃げろ。」と言ったために、Xは恐ろしくなり、結局、何もせずにその場から逃げた。YはXの姿が見えなくなったのを確認してから、気を失っているAの懐から財布を抜き取り、現場から立ち去った。翌朝、Aが現場で凍死しているのが発見された。

X及びYの罪責について論じなさい。